

## 9. グラフで見る2001年のデータ

## 2001年の登録例の解析結果のまとめ

### 1. 良性腫瘍の部位別割合

#### 1) 男性に関して：

- ① 良性腫瘍の中で最も割合の大きいのは、結腸（68.0%）であり、以下、胃（7.0%）、直腸（6.9%）、皮膚（6.5%）の順である。
- ② 結腸と直腸を合わせた良性腫瘍（殆どが腺腫）が74.9%を占めているが、経年的には、1997年77.2%、1998年76.1%、1999年76.4%、2000年74.9%であり、大きな変化はみられない。

#### 2) 女性に関して：

- ① 良性腫瘍の中で最も割合の大きいのは、結腸（34.4%）であり、以下、子宮体部（19.1%）、皮膚（12.2%）、卵巣（8.7%）の順である。
- ② 結腸と直腸を合わせた良性腫瘍（殆どが腺腫）の割合は38.5%であり、経年的には、1997年36.3%、1998年38.3%、1999年36.3%、2000年38.2%であり、大きな変化はみられない。
- ③ 子宮体部の良性腫瘍（殆どが平滑筋腫）の割合は19.1%であるが、経年的には、1997年21.3%、1998年20.5%、1999年19.9%、2000年19.1%と、減少傾向がみられる。

### 2. 悪性腫瘍の部位別割合

#### 1) 男性に関して：

- ① 悪性腫瘍の中で最も割合が大きいのは、胃（26.2%）であり、以下、結腸（17.5%）、前立腺（9.2%）、直腸（8.6%）、肺（7.5%）の順である。
- ② 結腸と直腸を合わせた悪性腫瘍（大腸がん）の割合は26.1%で、胃の割合とほぼ同じである。経年的には、1997年30.3%、1998年28.7%、1999年26.4%、2000年25.8%と、減少傾向がみられる。
- ③ 胃の悪性腫瘍の割合は26.2%であるが、経年的には、1997年24.8%、1998年24.6%、1999年25.7%、2000年25.1%であり、大きな変化はみられない。
- ④ 前立腺の悪性腫瘍の割合は9.2%であり、経年的には、1997年5.7%、1998年6.5%、1999年7.9%、2000年8.8%と増加傾向は明らかである。
- ⑤ 肺の悪性腫瘍の割合は7.5%であり、経年的に1997年7.0%、1998年7.4%、1999年7.9%、2000年8.6%と続いていた増加傾向が2001年にはみられない。
- ⑥ 肝臓の悪性腫瘍の割合は3.2%であり、経年的には、1997年4.2%、1998年4.0%、1999年4.0%、2000年3.4%と、やや減少傾向である。

#### 2) 女性に関して：

- ① 悪性腫瘍の部位別の割合をみると、乳房（16.4%）が胃（16.2%）を抜いて昨年か

ら1位となっている。結腸（15.5%）が昨年と同じく3位を占めている。子宮頸部（8.3%）、直腸（6.4%）、肺（4.7%）がそれに次ぐ。結腸と直腸を合わせた悪性腫瘍（大腸がん）の割合は、21.9%と最も大きい。

### 3. 広域医療圏※別にみた悪性腫瘍の部位別割合の比較

- 1) 男性では、胃がんの割合は、備北（32.9%）と呉（29.2%）で大きく、結腸・直腸がんの割合は、広島（27.7%）で最も大きい。前立腺がんの割合は、備北（14.2%）で最も大きい。肺がんの割合は、備後（8.4%）で最も大きい。
- 2) 女性では、乳がんの割合は、呉（16.2%）、広島（15.7%）で大きく、備北（11.1%）で最も小さい。胃がんの割合は、呉（17.2%）で最も大きい。結腸・直腸がんの割合は、備北（26.7%）で最も大きく、呉（21.2%）で最も小さい。

### 4. 広域医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍の人口10万人あたりの登録数（登録率）の比較

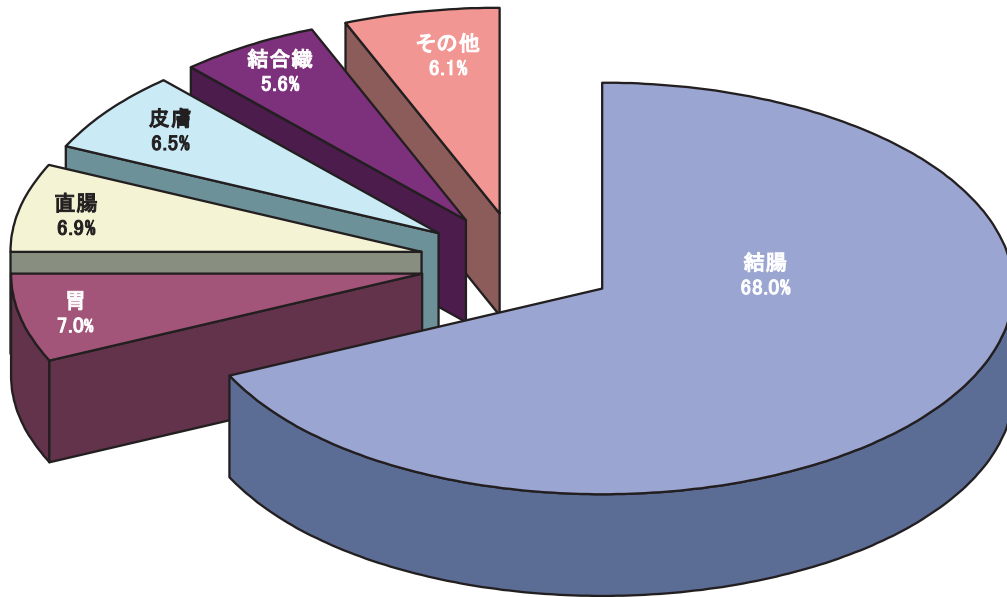
- 1) 全部位で見ると、備後の登録率が低く、他3地域の約1/3－1/2である。この状況はこれまでと変わらない。
- 2) 広島・呉・備北の3広域医療圏を比較すると、男性では、胃がんは呉で、結腸がん、前立腺がんは広島で、直腸がん、肺がんは呉で登録率が高い。女性では乳がんは呉で、胃がんは広島と呉で、結腸がんは広島で、子宮頸がんは呉で登録率が高い。

※平成9年策定の広島県保健医療計画（平成9年度を初年度とし概ね5年後を目標年次とする）で、広島県独自に広域的な視点から中長期的な保健医療を考える単位として設定されていた医療圏。県内に、広島、呉、備後、備北の4圏域を設定。11ページに示す二次保健医療圏とは異なる。

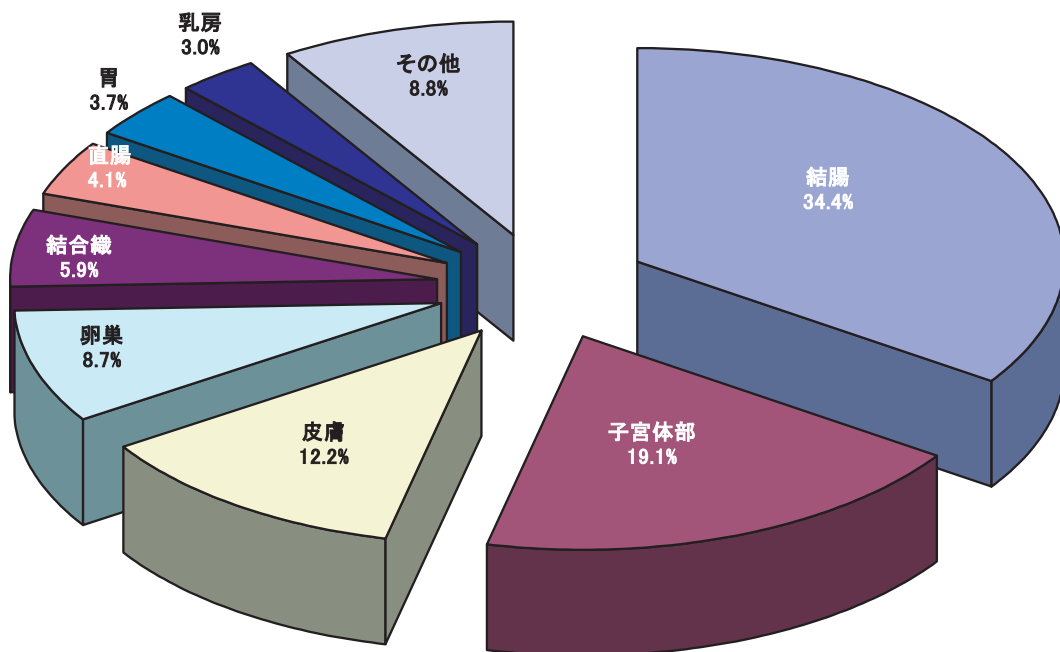


# (1) 良性腫瘍の部位別割合

(男性、2001年)



(女性、2001年)



(1) 良性腫瘍の部位別登録数と全体に占める割合（2001年）

（男性）

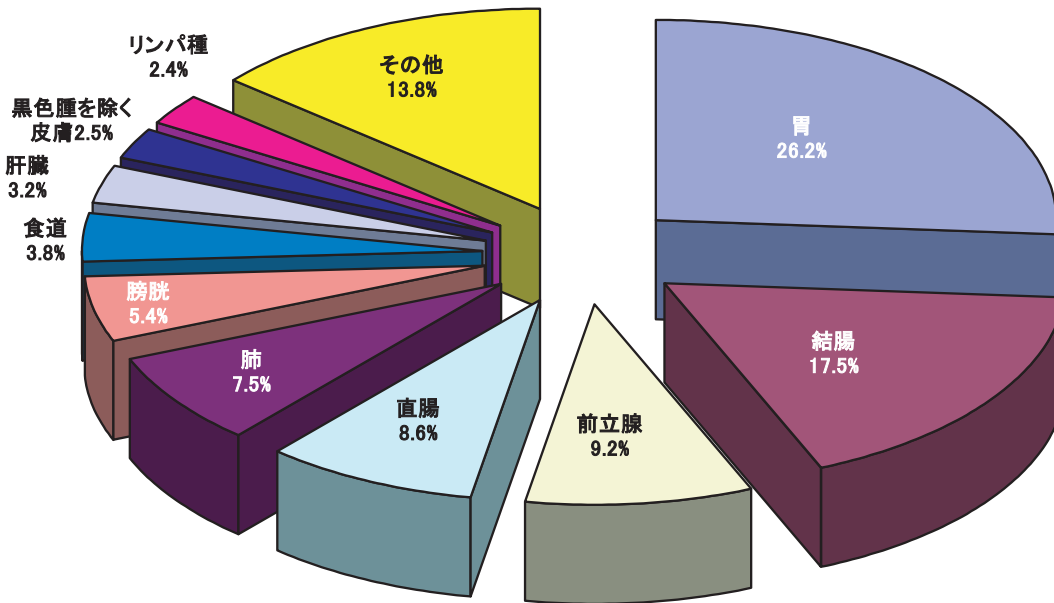
	登録数	割合（％）
結腸	5,050	68.0
胃	523	7.0
直腸	514	6.9
皮膚	480	6.5
結合織	414	5.6
その他	450	6.1
合計	7,431	100.0

（女性）

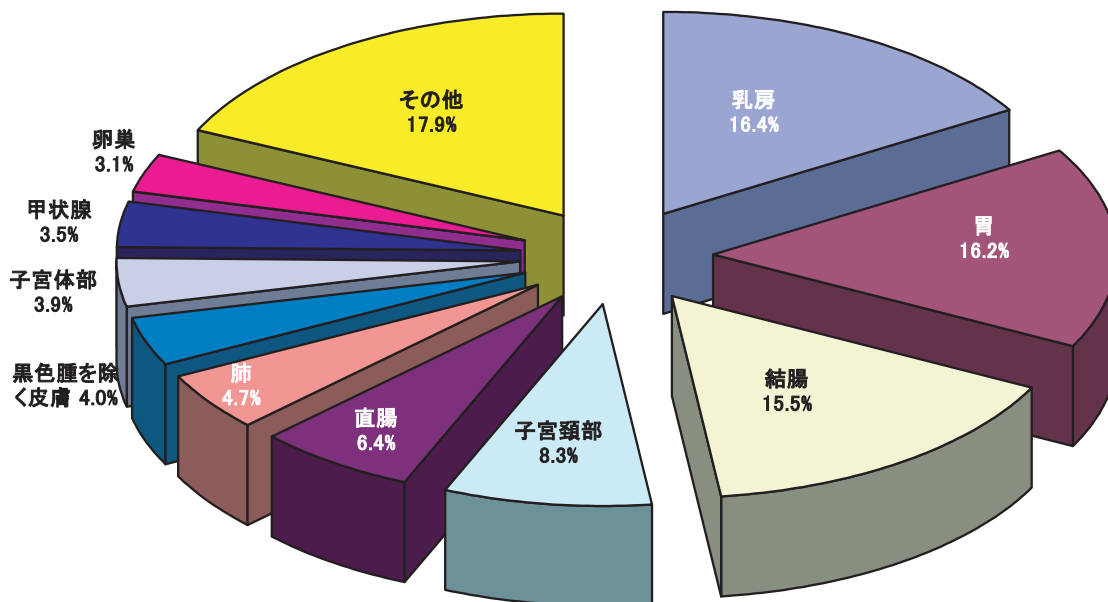
	登録数	割合（％）
結腸	2,521	34.4
子宮体部	1,403	19.1
皮膚	896	12.2
卵巣	637	8.7
結合織	430	5.9
直腸	299	4.1
胃	274	3.7
乳房	220	3.0
その他	647	8.8
合計	7,327	100.0

## (2) 悪性腫瘍の部位別割合

(男性、2001年)



(女性、2001年)



(2) 悪性腫瘍の部位別登録数と全体に占める割合 (2001年)

(男性)

	登録数	割合 (%)
胃	2,016	26.2
結腸	1,346	17.5
前立腺	708	9.2
直腸	665	8.6
肺	575	7.5
膀胱	413	5.4
食道	289	3.8
肝臓	246	3.2
皮膚 (黒色腫を除く)	194	2.5
リンパ腫	187	2.4
その他	1,064	13.8
合計	7,703	100.0

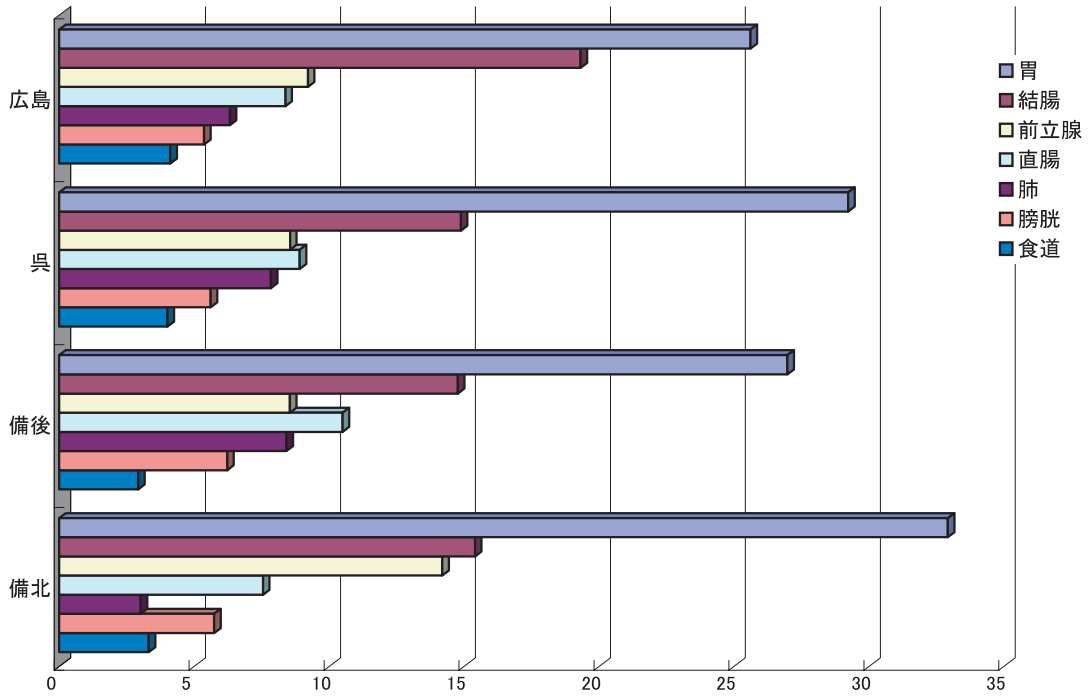
(女性)

	登録数	割合 (%)
乳房	928	16.4
胃	916	16.2
結腸	878	15.5
子宮頸部	468	8.3
直腸	364	6.4
肺	267	4.7
皮膚 (黒色腫を除く)	228	4.0
子宮体部	220	3.9
甲状腺	198	3.5
卵巣	178	3.1
その他	1,016	17.9
合計	5,661	100.0

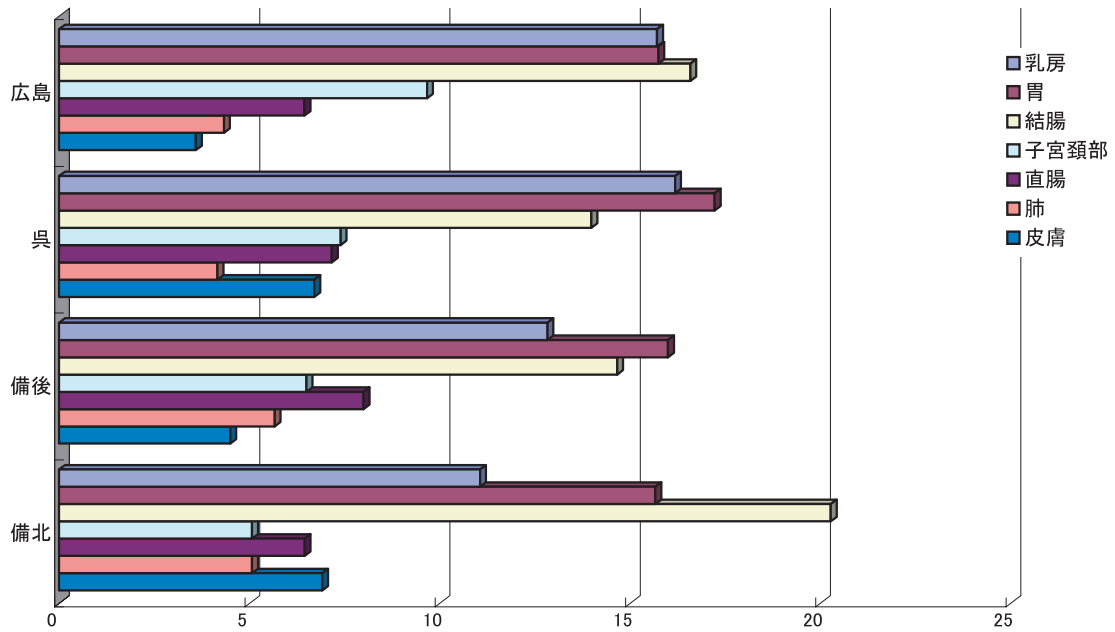


### (3) 広域医療圏別にみた悪性腫瘍の部位別割合の比較

(男性、2001年)



(女性、2001年)



(3) 広域医療圏別にみた悪性腫瘍の部位別登録数と全体に占める割合の比較

(男性、2001年)

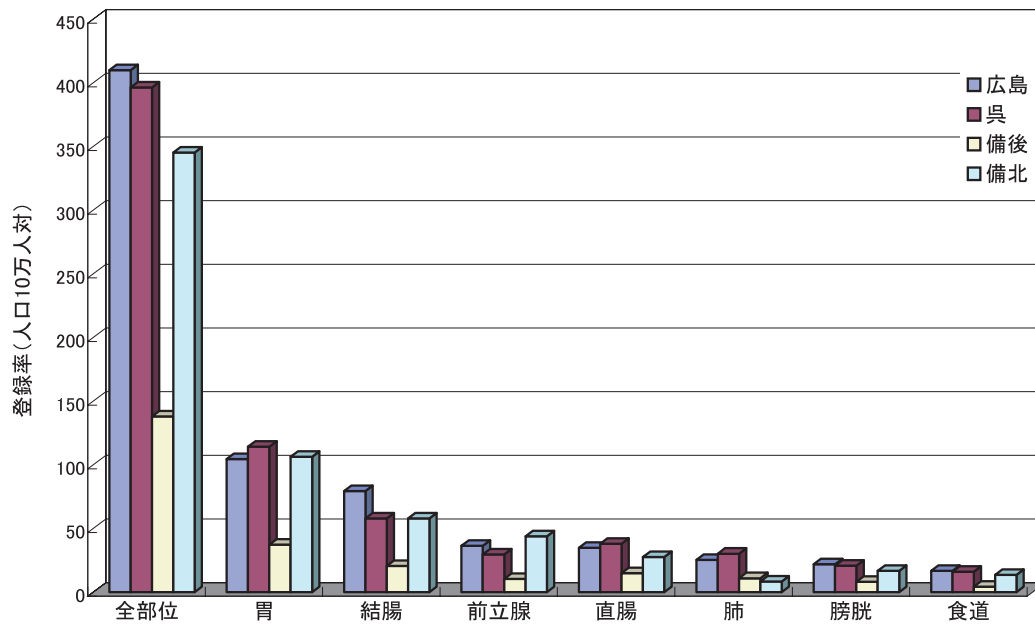
医療圏 部 位	登 録 数 (%)			
	広 島	呉	備 後	備 北
胃	1,045 (25.6)	328 (29.2)	221 (27.0)	109 (32.9)
結 腸	788 (19.3)	167 (14.9)	121 (14.8)	51 (15.4)
前 立 腺	376 ( 9.2)	96 ( 8.6)	70 ( 8.5)	47 (14.2)
直 腸	342 ( 8.4)	100 ( 8.9)	86 (10.5)	25 ( 7.6)
肺	258 ( 6.3)	88 ( 7.8)	69 ( 8.4)	10 ( 3.0)
膀 胱	219 ( 5.4)	63 ( 5.6)	51 ( 6.2)	19 ( 5.7)
食 道	168 ( 4.1)	45 ( 4.0)	24 ( 2.9)	11 ( 3.3)
そ の 他	883 (21.6)	235 (20.9)	177 (21.6)	59 (17.8)
合 計	4,079	1,122	819	331

(女性、2001年)

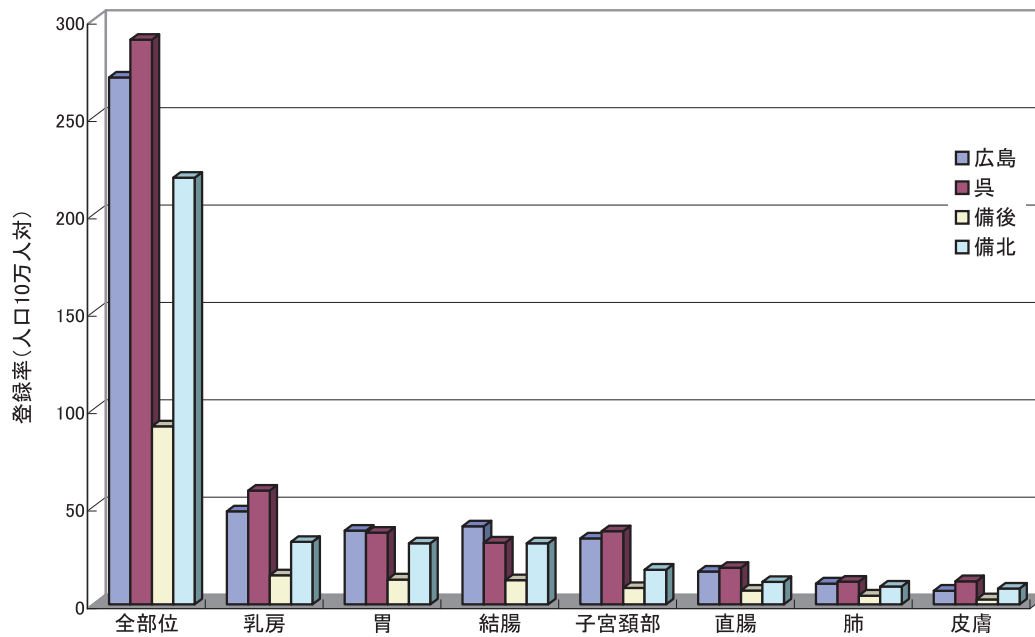
医療圏 部 位	登 録 数 (%)			
	広 島	呉	備 後	備 北
乳 房	468 (15.7)	140 (16.2)	77 (12.8)	24 (11.1)
胃	469 (15.7)	149 (17.2)	96 (16.0)	34 (15.7)
結 腸	494 (16.6)	121 (14.0)	88 (14.7)	44 (20.3)
子宮頸部	288 ( 9.7)	64 ( 7.4)	39 ( 6.5)	11 ( 5.1)
直 腸	192 ( 6.4)	62 ( 7.2)	48 ( 8.0)	14 ( 6.5)
肺	129 ( 4.3)	36 ( 4.2)	34 ( 5.7)	11 ( 5.1)
皮 膚 (黒色腫を除く)	107 ( 3.6)	58 ( 6.7)	27 ( 4.5)	15 ( 6.9)
そ の 他	831 (27.9)	235 (27.2)	191 (31.8)	64 (29.5)
合 計	2,978	865	600	217

#### (4) 広域医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍登録数（人口10万人あたり）の比較

(男性、2001年)



(女性、2001年)



(4) 広域医療圏別・部位別にみた人口10万人あたりの悪性腫瘍登録数（登録率）の比較

(男性、2001年)

	全 部 位		胃		結 腸		前 立 腺	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
広島	4,079	410.0	1,045	104.5	788	79.4	376	36.5
呉	1,122	396.3	328	114.3	167	57.9	96	29.7
備後	819	138.0	221	37.4	121	20.6	70	10.5
備北	331	345.3	109	106.3	51	57.9	47	43.9

	直 腸		肺		膀 胱		食 道	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
広島	342	34.8	258	25.4	219	21.9	168	16.8
呉	100	38.0	88	30.2	63	20.8	45	16.1
備後	86	14.9	69	11.0	51	8.2	24	4.3
備北	25	27.7	10	8.3	19	16.7	11	13.5

(女性、2001年)

	全 部 位		乳 房		胃		結 腸	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
広島	2,978	270.4	468	47.7	469	37.8	494	40.1
呉	865	289.8	140	58.4	149	36.8	121	31.7
備後	600	91.4	77	14.9	96	12.8	88	12.4
備北	217	219.0	24	32.1	34	31.3	44	31.3

	子 宮 頸 部		直 腸		肺		皮 膚	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
広島	288	33.9	192	16.8	129	10.7	107	7.0
呉	64	37.5	62	18.8	36	11.7	58	11.9
備後	39	8.4	48	7.1	34	4.5	27	2.6
備北	11	17.8	14	11.5	11	9.2	15	8.1

注) 登録率は人口10万人対、1985年日本モデル人口で調整



## 2001年の広島県悪性腫瘍死亡結果のまとめ

### 1. 悪性腫瘍死亡者数

- 1) 広島県における2001年の悪性腫瘍による死亡者数は男性4,490人、女性2,891人で、前年（2000年）に比べて男性は156人、女性は246人増加した。

### 2. 悪性腫瘍死亡の部位別割合

- 1) 男性では、肺がんによる死亡の割合が22.1%と最も大きく、次いで肝臓（17.7%）、胃（16.2%）、結腸（6.5%）であった。また、組織登録への提出数が比較的少なく、かつ予後が不良とされている膵臓・食道・胆嚢などの臓器の悪性腫瘍が上位10位以内に入っていた。
- 2) 女性では、胃（16.0%）、肝臓（12.2%）、肺（12.1%）の順であり、以下結腸、膵臓、乳房、胆嚢の順であった。
- 3) ちなみに、同年の全国統計では、男性が肺（22.0%）、胃（17.8%）、肝臓（13.0%）、大腸（11.2%）、女性は胃（14.8%）、大腸（14.0%）、肺（12.7%）、肝臓（9.0%）の順であった。

### 3. 広域医療圏別にみた悪性腫瘍の部位別割合の比較

- 1) 広域医療圏別に悪性腫瘍死亡の部位別割合をみると、男性では呉医療圏で胃がん死亡の割合が高く、備後医療圏で肝がん死亡の割合が高かった。女性では呉医療圏で胃がん死亡の割合が高かった。

### 4. 広域医療圏別・部位別にみた人口10万人あたりの悪性腫瘍死亡数（死亡率）の比較

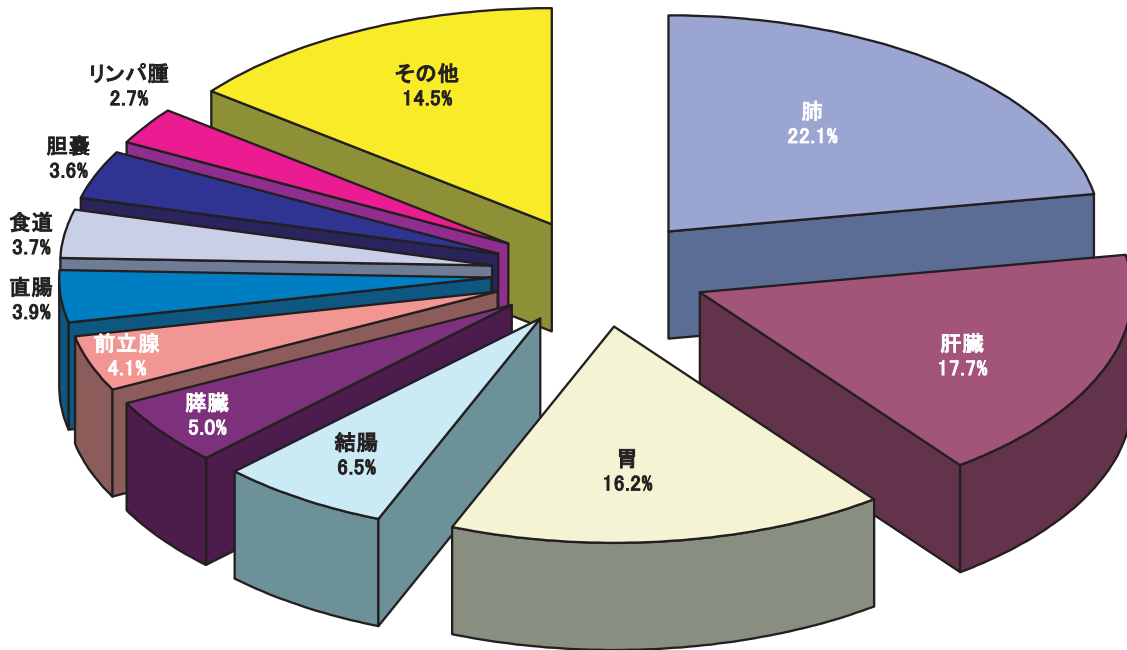
- 1) 1985年日本モデル人口を用いて求めた人口10万人あたりの死亡率（年齢調整死亡率）を広域医療圏別にみると、全部位では男女とも呉医療圏で最も高かった。
- 2) 広域医療圏別・部位別にみると、男性では肺がんと胃がんの死亡率は呉医療圏で、肝がんの死亡率は呉医療圏と備後医療圏で高く、女性では胃がんの死亡率は呉医療圏で最も高かった。

### 5. 広島県および全国の悪性腫瘍死亡数および人口10万人あたりの死亡率（参考）

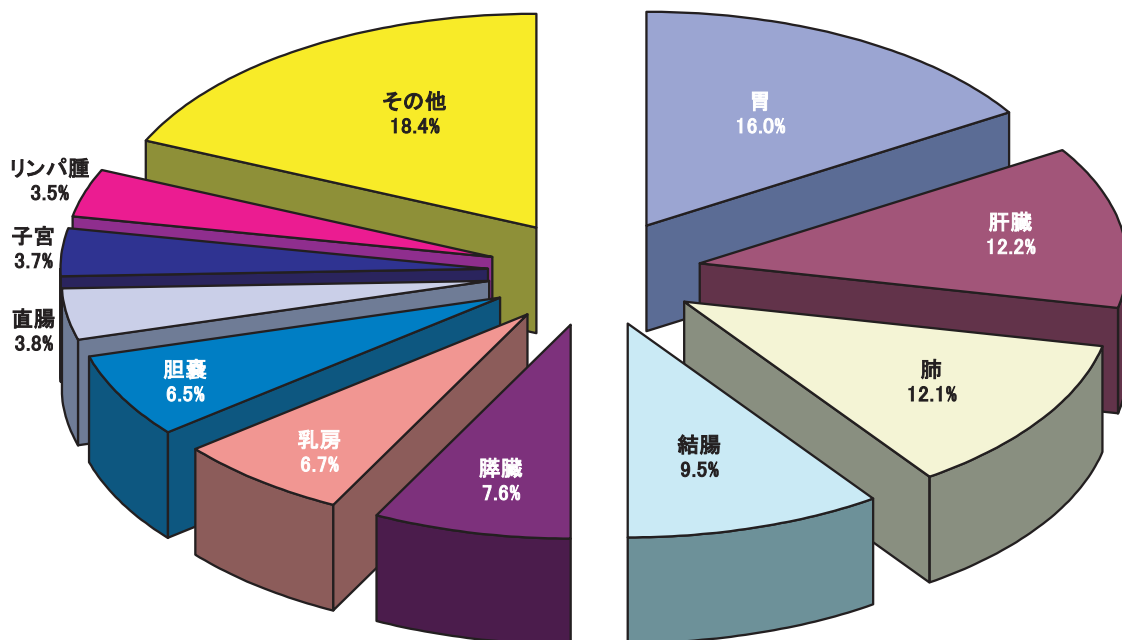
- 1) 広島県における悪性腫瘍死亡率（1985年日本モデル人口で調整）は、男性で人口10万人あたり221.3、女性で102.6であった。ちなみに、同年の全国値は男性209.4、女性102.5であった。
- 2) 部位別にみると、男性の肝臓がんの死亡率は広島県が全国を大きく上回っていた。女性でも肝臓がんの死亡率は全国の死亡率より高かった。

# (1) 悪性腫瘍死亡の部位別割合

(男性、2001年)



(女性、2001年)



(1) 悪性腫瘍死亡の部位別死亡数と全体に占める割合（2001年）

(男性)

	登録数	割合 (%)
肺	994	22.1
肝臓	793	17.7
胃	728	16.2
結腸	292	6.5
膵臓	224	5.0
前立腺	186	4.1
直腸	174	3.9
食道	168	3.7
胆嚢	163	3.6
リンパ腫	119	2.7
その他	649	14.5
合計	4,490	100.0

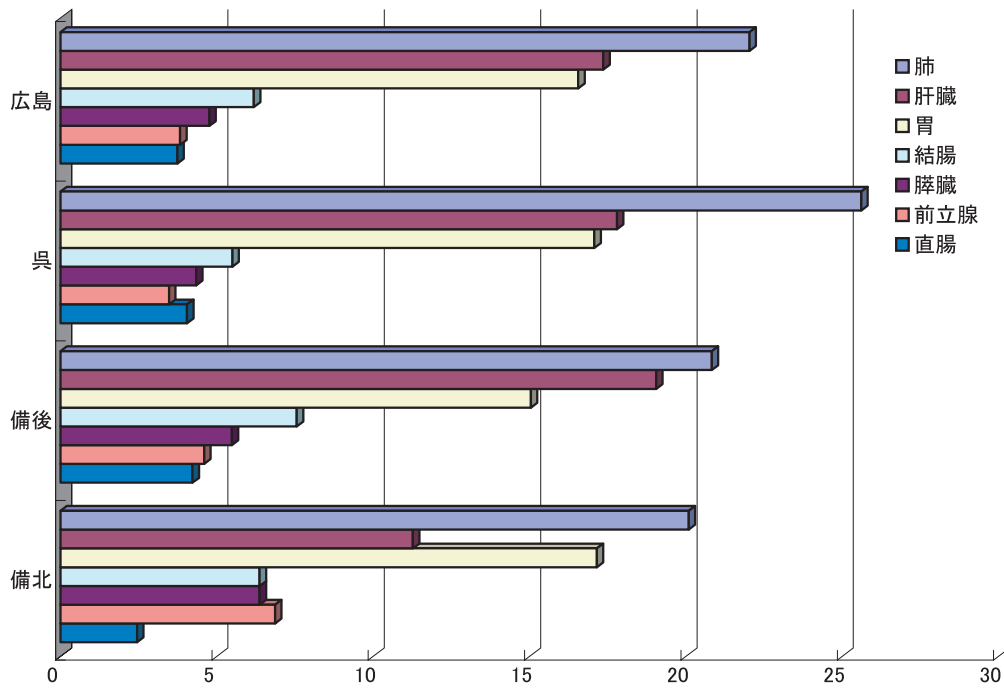
(女性)

	登録数	割合 (%)
胃	463	16.0
肝臓	353	12.2
肺	351	12.1
結腸	276	9.5
膵臓	220	7.6
乳房	193	6.7
胆嚢	187	6.5
直腸	109	3.8
子宮	106	3.7
リンパ腫	101	3.5
その他	532	18.4
合計	2,891	100.0

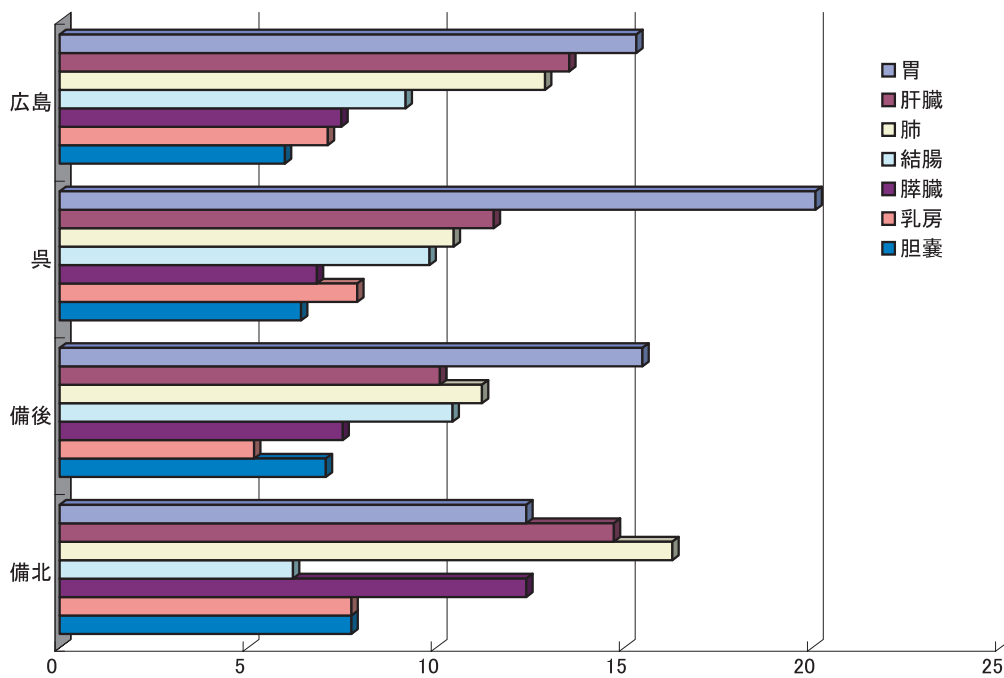


## (2) 広域医療圏別にみた悪性腫瘍死亡の部位別割合の比較

(男性、2001年)



(女性、2001年)



(2) 広域医療圏別にみた悪性腫瘍の部位別死亡数と全体に占める割合の比較

(男性、2001年)

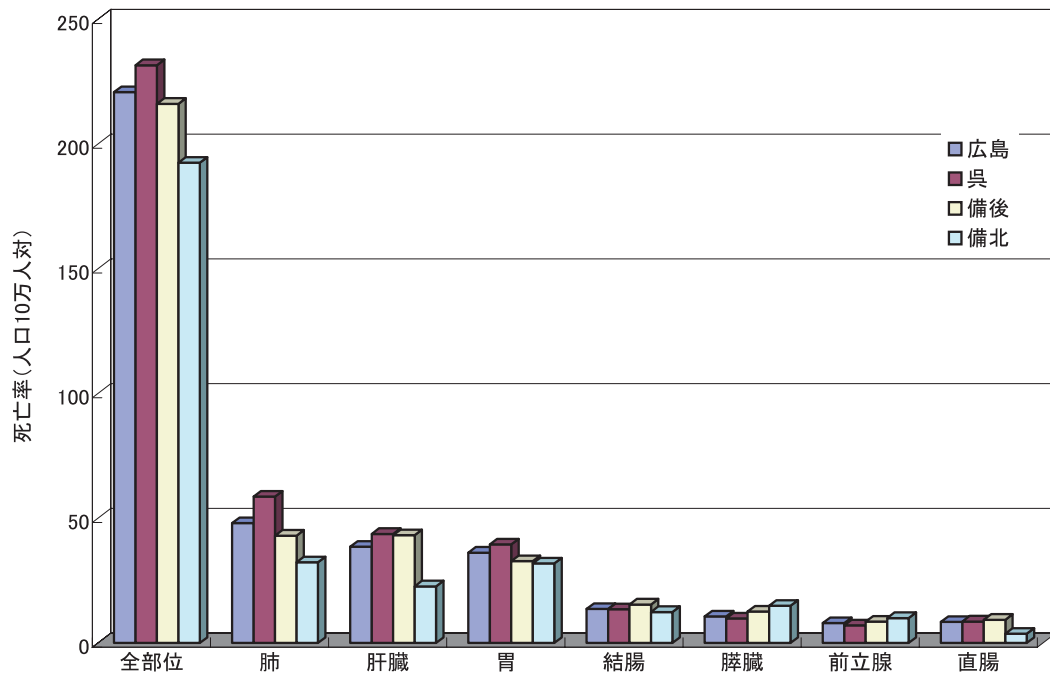
医療圏 部 位	死 亡 数 (%)			
	広 島	呉	備 後	備 北
肺	495 (22.0)	177 (25.6)	281 (20.8)	41 (20.1)
肝 臓	390 (17.4)	123 (17.8)	257 (19.1)	23 (11.3)
胃	372 (16.6)	118 (17.1)	203 (15.0)	35 (17.2)
結 腸	139 ( 6.2)	38 ( 5.5)	102 ( 7.6)	13 ( 6.4)
膵 臓	107 ( 4.8)	30 ( 4.3)	74 ( 5.5)	13 ( 6.4)
前 立 腺	86 ( 3.8)	24 ( 3.5)	62 ( 4.6)	14 ( 6.9)
直 腸	84 ( 3.7)	28 ( 4.1)	57 ( 4.2)	5 ( 2.5)
そ の 他	573 (25.5)	153 (22.1)	313 (23.2)	60 (29.4)
合 計	2,246	691	1,349	204

(女性、2001年)

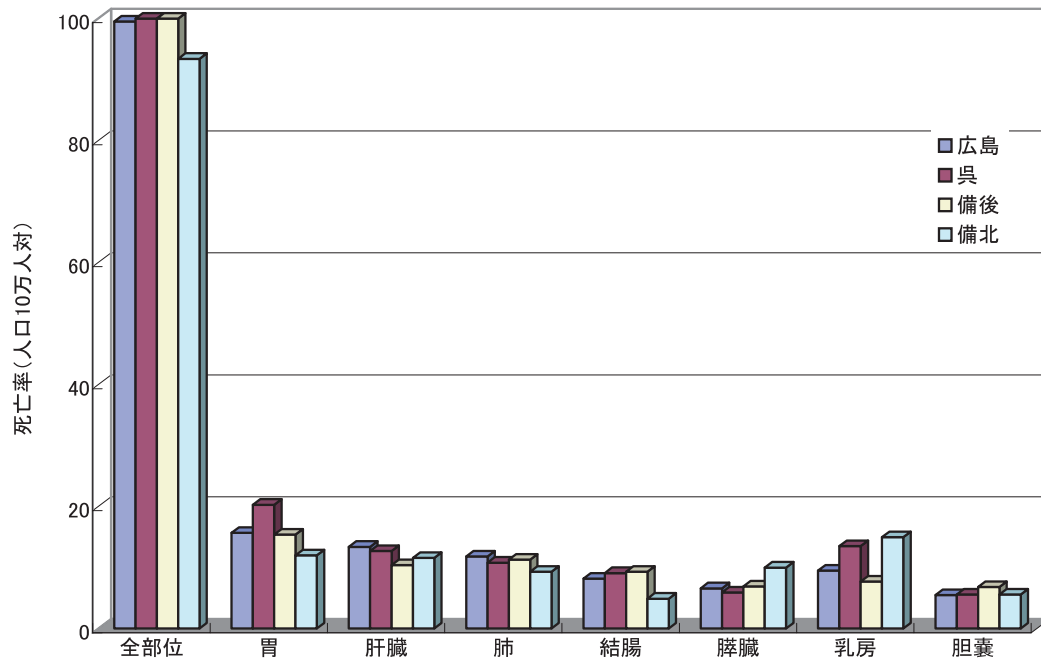
医療圏 部 位	死 亡 数 (%)			
	広 島	呉	備 後	備 北
胃	215 (15.3)	94 (20.1)	138 (15.5)	16 (12.4)
肝 臓	190 (13.5)	54 (11.5)	90 (10.1)	19 (14.7)
肺	181 (12.9)	49 (10.5)	100 (11.2)	21 (16.3)
結 腸	129 ( 9.2)	46 ( 9.8)	93 (10.4)	8 ( 6.2)
膵 臓	105 ( 7.5)	32 ( 6.8)	67 ( 7.5)	16 (12.4)
乳 房	100 ( 7.1)	37 ( 7.9)	46 ( 5.2)	10 ( 7.8)
胆 嚢	84 ( 6.0)	30 ( 6.4)	63 ( 7.1)	10 ( 7.8)
そ の 他	399 (28.4)	126 (26.9)	294 (33.0)	29 (22.5)
合 計	1,403	468	891	129

### (3) 広域医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍死亡率（人口10万人あたり）の比較

(男性、2001年)



(女性、2001年)



(3) 広域医療圏別・部位別にみた人口10万人あたりの悪性腫瘍死亡数（死亡率）の比較

(男性、2001年)

	全 部 位		肺		肝 臓		胃	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島	2,246	220.8	495	48.0	390	38.6	372	36.2
呉	691	231.6	177	58.7	123	43.7	118	39.5
備後	1,349	216.1	281	43.0	257	43.2	203	32.8
備北	204	192.5	41	32.3	23	22.7	35	31.9

	結 腸		膵 臓		前 立 腺		直 腸	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島	139	13.6	107	10.6	86	8.0	84	8.4
呉	38	13.5	30	9.8	24	7.0	28	8.6
備後	102	15.4	74	12.6	62	8.5	57	9.3
備北	13	12.4	13	14.9	14	10.0	5	3.7

(女性、2001年)

	全 部 位		胃		肝 臓		肺	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島	1,403	99.5	215	15.7	190	13.4	181	11.8
呉	468	109.8	94	20.3	54	12.7	49	10.8
備後	891	101.8	138	15.4	90	10.4	100	11.3
備北	129	93.4	16	12.0	19	11.6	21	9.3

	結 腸		膵 臓		乳 房		胆 嚢	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島	129	8.2	105	6.6	100	9.5	84	5.5
呉	46	9.1	32	5.9	37	13.5	30	5.6
備後	93	9.3	67	6.9	46	7.7	63	6.8
備北	8	4.9	16	10.0	10	15.0	10	5.6

注) 死亡率は人口10万人対、1985年日本モデル人口で調整

(参考) 広島県および全国の人口10万人あたりの悪性腫瘍死亡数(死亡率)

(男性、2001年)

	全 部 位		肺		肝 臓		胃	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	4,462	322.9	991	71.7	781	56.5	724	52.4
全 国	181,393	209.4	39,904	45.6	23,596	27.3	32,267	37.1

	結 腸		膵 臓		前 立 腺		直 腸	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	291	21.1	222	16.1	185	13.4	174	12.6
全 国	12,422	14.2	10,471	12.2	7,645	8.4	7,843	9.2

(女性、2001年)

	全 部 位		胃		肝 臓		肺	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	2,872	194.8	458	31.1	351	23.8	349	23.7
全 国	119,265	102.5	17,691	14.6	10,715	8.8	15,130	12.2

	結 腸		膵 臓		乳 房		胆 嚢	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	275	18.7	219	14.9	192	13.0	186	12.6
全 国	12,014	9.5	8,926	7.2	9,654	11.1	8,473	6.2

資料) 人口動態統計

注) 死亡率は人口10万人対、1985年日本モデル人口で調整

## 2001年の広島県腫瘍登録の登録精度

広島県腫瘍登録事業では、従来の県内医療機関からの届出に加えて1998年より死亡小票情報に基づく悪性腫瘍症例の補完が可能となった。

2001年に広島県腫瘍登録に新規登録された悪性腫瘍総数は13,365件だが、県外居住者を除外し、地域がん登録で一般的に用いられる多重がん判定基準（注）を適用すると、広島県の悪性腫瘍（上皮内がんを除く）登録数は11,197件となった。さらに、この件数をベースに悪性腫瘍による死亡例7,381例を含めたがん登録統合作業を行うと、悪性腫瘍によって死亡したにもかかわらず広島県腫瘍登録に届出がなかった症例が3,201件確認され、登録症例11,197件と合わせて、同年の広島県における悪性腫瘍罹患数は14,398件となった。この3,201件がいわゆる DCO（Death Certificate Only）例で、悪性腫瘍罹患総数中の割合が地域がん登録の登録精度を示す指標となっている。

DCO は死亡するまで地域の腫瘍登録に届出されることのなかった症例と言い換えることができる。したがって、この割合が高いほど登録精度が不良であることを示す。2001年の広島県の DCO 割合は22.2%（=3,201/14,398）であり、全国30余の地域がん登録のものと比較しても、高くはなかった。医療圏別の DCO 割合をみると、備後医療圏では48.1%を示し、他医療圏と比較して登録精度がかなり低いことがわかった。逆に、広島、呉、備北医療圏の DCO 割合は20%前後で、広島県全体よりも登録精度は良好であった。

	広島県	広島	呉	備後	備北
罹患数	14,398	7,427	2,232	2,549	654
登録数	11,197	6,020	1,808	1,323	513
死亡数	7,381	3,649	1,159	2,240	333
DCO 数	3,201	1,407	424	1,226	141
DCO 割合 (%)	22.2	18.9	19.0	48.1	21.6

（広島全体における値と各医療圏における値の総和が一致しないのは、登録例および死亡例の詳細住所情報を欠くことによる）

（注）：地域がん登録で一般的に用いられる多重がん判定基準は複雑多岐にわたるが、1例を挙げれば、「術前生検と手術における病理組織診断が同一であれば1個のがんと判定する」、「尿路上皮がんの異所性再発は、複数のがんと判定せず、ひとつのがんと判定する」、「両側臓器のうち、両側卵巣に発生したがん（同一組織型）は1個と判定する」、「肝臓の複数の部位に発生した肝細胞がんは、1個のがんと判定する」などがある。

